

7 平成31年度・令和元年度 かねやまホームデイサービスセンター事業報告

《基本事項》

住み慣れた地域でご本人、ご家族の意向に沿った暮らしを実現するために、潜在的なニーズを把握して必要とされるサービスが提供できる事業所づくりに努める。また、随時、業務の見直しと改善を実行し、効率化の向上と共に安定した運営を目指す。

《重点事項》

1. サービス内容の充実

① 昨年度実施したご利用者へアンケートや居宅・包括との合同会議を踏まえ、個々の能力に応じた活動の選択肢を増やすと共に、ご利用者の希望に沿った過ごし方を充実させ、楽しみを感じながら利用を継続していただけるようにしていく。

また、ご利用者本位のサービスの提供を目指し、必要に応じてアンケートを実施するなど、適宜見直しに取り組んでいく。

ご利用者の希望に沿った個別の外出を再開し、個々の状態や体力に応じた行程を計画して実施した。途中、職員の不足により実施が難しい状況があったものの、ボランティアを募集し、その協力を得て年度内に実施するなど、工夫を凝らして対応することができた。更に次年度に向けて充実した外出活動を目指して、アンケートを実施して計画を立案した。また、手作業による作品を秋祭りで販売する機会を持ち、創作意欲の継続につなげることができた。

② 過剰な介助とならないように心がけ、ご利用者自身ができることを増やしていき、自主的な取り組みにより張り合いややりがいを持って活動できるようにしていく。

入浴時の一連の行動・動作についてアセスメントを実施して自分で出来る事は自主的に行動して頂けるようにすると共に、介助が必要なご利用者には適切に対応するように努めた。職員全員が統一したケアを展開できるように取り組んだが、まだ定着していない点もあるため継続していく。また、次年度も新たなテーマに取り組む予定となっている。

③ 歩行能力の改善を目標にしているご利用者の歩行訓練を充実させ、取り組みが継続できるようにしていく。

これまで掲示していた実施状況を表示した図をスタンプカードに変更し、到達目標を以前より高く設定して実施した。新たに訓練を開始や再開するご利用者が増え、年度末で17名のご利用者が意欲的に取り組んでいる。

④ 改修に向け、ご利用者が快適且つ安全に過ごせる環境を検討していく。

改修について話し合う機会を持ち、部所の意見をまとめて提出した。

2. 利用実績向上のための取り組み

- ① 各支援事業所との情報交換により、新規利用者の増員を目指す。また、キャンセル待ちのご利用者の利用日調整により稼働率の向上を目指す。

年間で17名の新規ご利用者があり、キャンセル待ちの利用や利用日の変更・調整により、可能な限り多くの方に利用していただけるように努めた。しかし、後半は様々な事情により予想以上の減少があり、年間で昨年比95.8%の実績であった。

- ② 見学や新規利用開始時にサービスを安心して利用できるように、事前の案内内容を充実させる。また、自宅での生活パターンや趣味、嗜好を今まで以上に把握できるようにしていく。

作成したリーフレットを案内や説明に活用するようにしている。また、フェイスシートの内容を見直し、自宅での生活状況を把握し易いようにした。また、実際の利用時には情報を活用して不安にならないように配慮し、利用の継続につなげた。

- ③ 2ヶ月ごとに「デイ便り」を作成し、ご利用者へ配布するとともに新規の利用促進にも活用していく。

2ヶ月ごとに発行するとともに、新規ご利用者への説明にも活用して好評であった。

3. 職員の資質向上

- ① パート職員を含めた全職員が介護技術や接遇、安全について学習する機会を持ち、資質の向上を図る。

随時、口頭や書面での申し送りを徹底してきた。特に安全面についてはインシデント・事故についての情報共有を図り、高い意識を持って対応できるように努めた。インシデントについては記録を残すだけでなく、ケアカンファレンス時に検討する時間を設け、対策や注意事項をまとめて部所内の周知を図った。